

『南国みどり館』の準備進む



小笠原市長にメッセージを手渡すミス黒潮博

高知空港ジェット化を記念して、高知市布師田で来春（五十九年三月二十日～五月十三日）開かれる黒潮博の開幕まで、あと七ヵ月余りとなりました。

本市も、この博覧会に参加しますが、市内外の人々に『南国市』を知ってもらおうと、今最終的な準備段階に入っています。

本市のパビリオンは『南国みどり館』。古き時代の農業から現代農業までの進歩を時代を追って紹介するとともに、これからの農業の展望を探っていくものです。

また、弥生時代の田村遺跡の住居を再現し、先人の築いた文化的遺産なども紹介する計画です。

黒潮博は、くろしお館、未来の四国館、ふるさと館、宇宙航空科学館、南国みどり館など二十一館が計画され、各方面で準備が進められています。

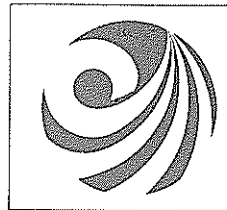
『ミス黒潮博』 が来庁

黒潮博実行委員会ではキャラバン隊を編成して、黒潮博を県内外にアピールしようと懸命です。

八月四日午後、このキャラバン隊の一行が市役所を訪れ、三人の『ミス黒潮博』が『南国市民にもアピールしてください』と、中島観光実行委員会長のメッセージを小笠原市長に手渡しました。

三人のミス黒潮博は、博覧会成功のため、これからは県内外を駆け巡るそうです。

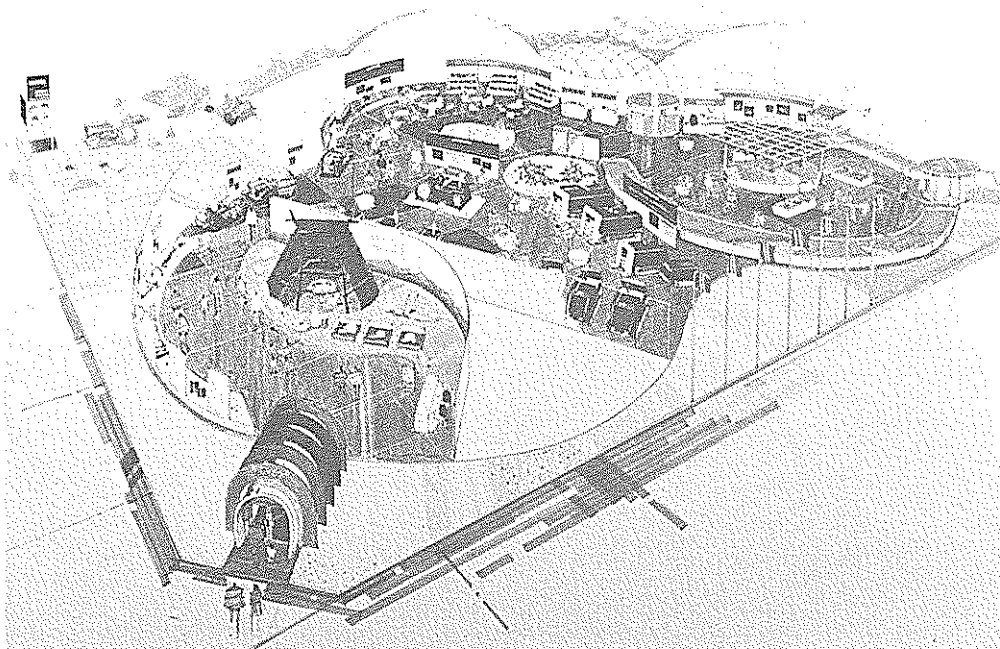
●シンボルマーク



84高知黒潮博覧会

会場・高知市布師田

59年3月20日～5月13日まで



未来の農業を探る『南国みどり館』